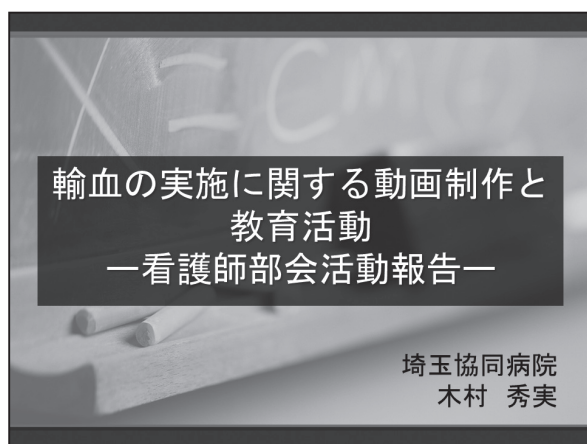


報告2 輸血の実施に関する動画政策と教育活動 —看護師部会活動報告— (輸血業務検討小委員会報告)

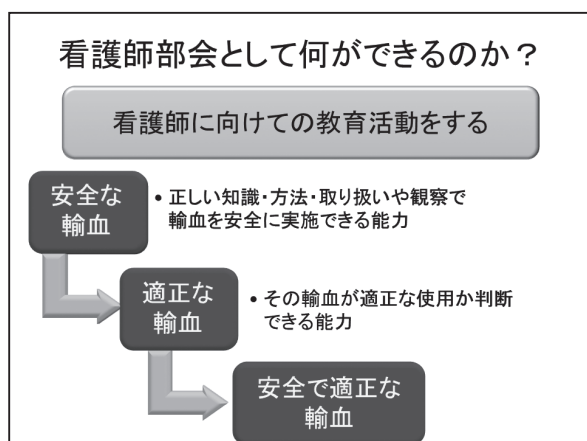
演者：木村 秀実 埼玉協同病院 看護部地域連携看護科

スライド1



本日は輸血業務検討小委員会の看護師部会の活動として2017年に行った輸血の実施に関する動画制作と教育活動について報告させていただきます。

スライド2

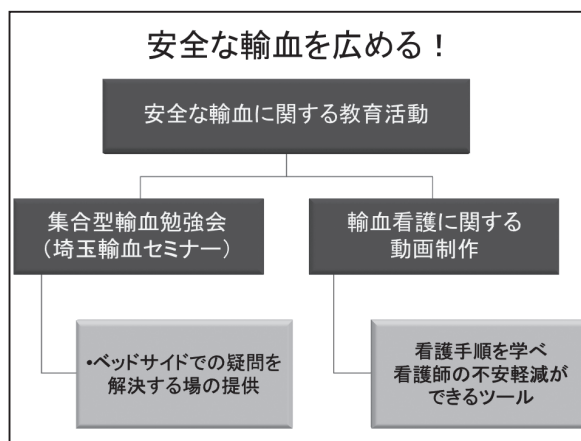


看護師部会は2016年には埼玉輸血セミナーでの教育活動を行いました。今年は看護師部会として何ができるかということを考え、2017年は安

全で適正な輸血を実現するために、まずは私たち看護師の教育をしようとなりました。

そのためのステップとして、正しい取り扱いで輸血が実施できるように安全な輸血を学び、その次にその輸血が適正な使用かを判断できる能力を育てていく必要があります。

スライド3



そこで、2017年は安全な輸血を広めるということをテーマに活動を行いました。2016年の埼玉輸血セミナーのアンケート結果から、参加理由として「基礎を知りたい、再確認したい」というものが最多でした。

そこから看護師がベッドサイドで抱く疑問を解決する場の提供を目的として今年度も埼玉輸血セミナーでの講師活動をさせていただきました。

また、2つ目の活動として、輸血の手順書を動画で確認できるものはあまりありません。看護手順を学べ、看護師の不安軽減ができるツールを作ろうということで輸血看護に関する動画制作を行いました。

スライド 4

埼玉輸血セミナー
—安全な輸血を実施するために—

主に看護師さん向けの内容です

川越 9月7日(木) **さいたま** 10月11日(水)

ウェスタ川越 多目的ホールA・B
ソニックシティ 906会議室

受付開始18:30~

1. ベッドサイドにおける輸血実施のQ&A 19:00~19:45
2. 看護師による輸血過誤防止への取り組み 19:45~20:30

参加費 無料

主に検査技師さん向けの内容です

川越 9月20日(水) **さいたま** 10月19日(木)

ウェスタ川越 多目的ホールA・B
ソニックシティ 906会議室

受付開始18:30~

1. 輸血検査の基礎とQ&A 19:00~19:45
2. 不規則抗体検査と不規則抗体カードの有用性 19:45~20:30

1つ目の埼玉輸血セミナーでは、9月と10月に「ベッドサイドにおける輸血実施のQ & A」、防衛医科大学校病院の島村さんより「看護師による輸血過誤防止への取り組み」という内容で開催しました。

スライド 5

ベッドサイドにおける輸血実施のQ&A

- ✓同意書の有効期限はあるの？
- ✓血液型検査はなぜ2回検査をするのか？
- ✓内容量は何mLですか？
- ✓何時間以内に終了すれば良いの？
- ✓輸血副作用はどのようなものがありますか？
- ✓観察のタイミングは？
- ✓どんな症状に注意すれば良い？など…

ベッドサイドにおける輸血実施のQ & A では

- 同意書の有効期限はあるの？
- 血液型検査はなぜ2回検査をするのか？
- 内容量は何 mL ですか？
- 何時間以内に終了すれば良いの？
- 輸血副作用はどのようなものがありますか？
- 観察のタイミングは？
- どんな症状に注意すれば良い？などの日頃から看護師が抱く疑問について Q & A 方式で講義をしました。

スライド 6

参加者180名
(看護系166名)

アンケート結果
参考になった(94%)

- 普段、気になっていることがQ&A方式だったので理解しやすかった。
- 同意書の有効期限、加温の必要なし。手技の再確認が出来た。
- 取り扱い方・副作用等あらためて再確認の意味で参考になった。
- 医師にも伝えたい内容だった。
- チーム医療の重要性が理解できた。具体例がよかった。

看護師向けの輸血セミナーの参加者は 180 名でそのうち看護師系の参加者が 166 名でした。アンケート結果から参考になったとの回答が 94%で、参加者からの意見としては

- 普段、気になっていることが Q&A 方式だったので理解しやすかった。
- 同意書の有効期限、加温の必要なし。手技の再確認が出来た。
- 取り扱い方・副作用等あらためて再確認の意味で参考になった。
- 医師にも伝えたい内容だった。
- チーム医療の重要性が理解できた。具体例がよかった。などの意見が寄せられており、学習効果はあったと考えられます。

スライド 7

輸血看護に関する動画制作

間違い動画から学ぶ!
正しい輸血の看護手順(基本編)

看護師がベッドサイドで押さえておきたい看護手順を学べる動画を制作する

次の活動として看護師がベッドサイドで押さえ

ておきたい看護手順を学べる動画を制作しました。

これは間違い動画から正しい輸血の看護手順を学べるように制作しています。今回が初公開となりますのでご覧ください。

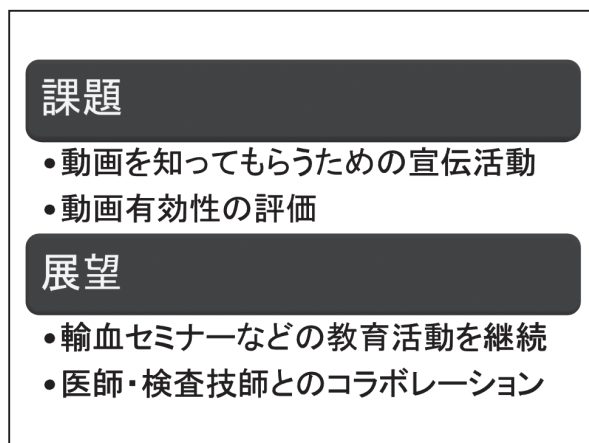
スライド 8



いかがだったでしょうか？

今後この動画を「自己血採血動画マニュアル」のように誰でも閲覧できるように埼玉県合同輸血療法委員会のホームページで公開予定ですので、活用していただきたいと思います。

スライド 9

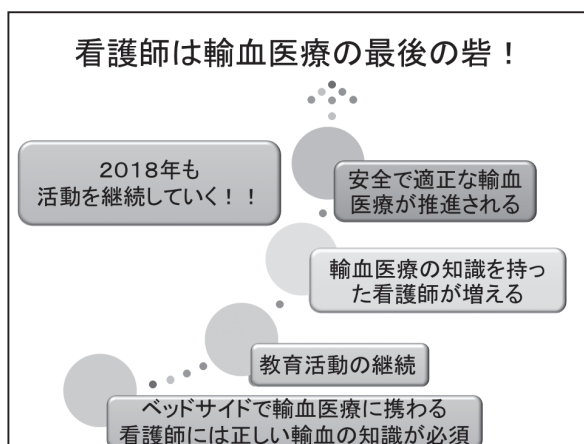


今後の課題と展望ですが、今回輸血看護に関する動画制作をしたのですが、それを知ってもらうための宣伝活動をしていかないとはいけません。

また、動画の有効性等を評価していく必要があるかと思えます。

今後の展望としては、現在行っている輸血セミナーなどの教育活動を継続して行きたいと思えます。そして、2018年は看護師だけでなく医師・検査技師ともコラボレーションをして活動を広げていきたいと考えています。

スライド 10



私は、看護師が輸血医療の最後の砦だと考えています。2018年も活動を継続し、安全で適切な輸血医療の推進に寄与していきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。